高根の鏝絵巡り　2019 年 3 月 20 日（水）

社会福祉協議会駐車場→箕輪新町(鏝絵３件)→養福寺のフジ→箕輪･海道(鏝絵２件)→建部神社→箕輪･大林(鏝絵１件)→セブンイレブン(トイレ)→箕輪･大坪(鏝絵２件)→中蔵原(鏝絵１件)→クラインガルテン(昼食・トイレ)→小池(鏝絵２件)→上蔵原(鏝絵２件)→伊勢大神社のケヤキ→村山東割(鏝絵１件)→武の井酒造(トイレ)→社会福祉協議会駐車場

担当者　　小澤　久（070-4219-7394）　　大嶋俊壽（080-2044-4766）

山梨県指定天然記念物 養福寺のフジ

フジは規模の大きな老木ではその木の性質から樹幹が何本かに分裂し、中心部は腐朽欠損してしまいます。養福寺のフジは、寺の裏手にあり、隣接する樹高30mにも及ぶシラカシや、スギの頂部まで巻き上がり、最盛期には東西20m以上、南北10m以上にもわたる広がりを見せ、花の時期には棚造りでは味わえない壮観な自然美が展開されました。

「北杜市の文化財紹介」https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/docs/1553.html より

養福寺の五智六尊佛

五智として薬師・聖観世音・阿弥陀・釈迦・大日の五仏と一尊の虚空蔵菩薩とを併せて六尊とした石造の曼荼羅は他に類例がありません。

これらの群像は、高さ約1.5mの光背に蓮の茎葉らい花を薄肉に浮き彫りし、下部の中央に主尊である虚空蔵菩薩が蓮座上に安し、その左右に薬師如来・聖観世音菩薩が、中辺に阿弥陀如来・釈迦如来、上方に大日如来の諸仏がそれぞれ蓮座上に趺坐六尊すべてに添えて種子が陰刻されています。近世の信仰をうかがう上で貴重な石造物である。

教育委員会説明版より

高根クラインガルテン

クラインガルテンとはドイツ語で、クライン（Klein）=小さな、ガルテン（Garten）=庭という意味。通称、市民農園のことです。「農業に興味があるけれど、土地もないし、やり方もわからない・・・」そんなあなたにぴったりなシステムです。区画農園を借りて自分の好きな野菜を作れます。もちろん、栽培方法など専門家によるアドバイスも受けられます。

「富士の国やまなし」https://www.yamanashi-kankou.jp/kankou/spot/p2_3269.htmlより

伊勢大神社のケヤキ

樹高　19m　　推定樹齢　８００年

目通り幹囲　8.7m　　高根町指定天然記念物

大ケヤキは鳥居の斜め後方に立っている。鳥居に向かって大枝が数本伸びていて元気そうだが、背面側には大きな空洞ができている。落雷により主幹を失ってしまったらしい。

伊勢大神社は、日本武尊の東征に端を発すと伝えている。祭神は大照大神（天照大神？）や素戔嗚尊など。開けた地にあるので、神社の社叢は遠くからもよく見える。主幹がまだスックと立っていた頃は見事な景観を呈していたことだろう。

「人里の巨木たち」http://www.hitozato-kyoboku.com/　より

武の井酒造株式会社

慶応元年（1865年）創業。

八ケ岳南麓の伏流水で仕込む、日本酒と純米本格焼酎の酒蔵。

創業者清水武左衛門（シミズブザエモン）の「武」に良水湧き出る井戸の「井」を添えて銘柄に。

納得のいく酒造りをすべく蔵主自らが仕込みの指揮を執り、東京農業大学で酒造りを学んだ若者二人がその脇を固め、通好みの酒を醸しています。

「山梨県酒造協同組合」http://www.yamanashi-sake.jp/kuramoto/ より

「高根の鏝絵」http://susuki.chips.jp/?page_id=8759　もご覧下さい。